

チャの開張性品種の定植及び仕立法

中村晋一郎・大森 薫・久保田朗・杉山喜直 (福岡県農業総合試験場)

Shin-ichiro NAKAMURA, Kaoru OHMORI, Akira KUBOTA and Yoshinao SUGIYAMA : Methods of Planting and Frame Formation in Tea Varieties of Plagiotropic Shape

品種茶園の約80%は樹姿直立性の「やぶきた」が占めており、直立性品種の定植及び仕立法の基準はあるが、近年「かなやみどり」「おおいわせ」「おくゆたか」などの開張性～やや開張性品種の普及が増加したので、開張性品種の定植及び仕立法について検討した。

1. 試験方法

1983年3月に開張性品種「かなやみどり」の2年生苗を供試し、定植法試験は、一条植えは株間35cm、二条植えは株間45cmとし、条間を30, 40, 50cmの千鳥植えとした。

仕立法試験は株間45cm、条間45cmの千鳥植えとした茶園で、初回剪枝を地上20, 25, 30cmとし、この各々について2, 3回目は前回剪枝面より5cmまたは10cm上で剪枝を行った。

2. 結果及び考察

1) 定植法試験

第1表に示すように、分枝数(枝条数)及び摘採面積は、一条植えより二条植えが勝っており、二条植えの中では条間の最も広い50cm区が優れた。また、収量は各年次とも一条植えより二条植えが勝り、二条植えの中では条間の最も広い区が多かった。一条植えは定植本数が、10a当たり1,850本、二条植えは2,470本となるため、二

条植えが多いのは当然であるが、二条植えでは条間の広い方が多くなったのは、競合が少なく枝条が良く伸びて摘採面積が広がったためと考えられる。

2) 仕立法試験

第2表に示すように、定植翌年4月の初回剪枝は高い位置の方が摘採面積の広がりが早く、初回剪枝が同位置の場合、次回剪枝位置が高い方が摘採面積が広がった。

収量も摘採面積と同様で推移し、初回剪枝を地上30cmで行い、毎年10cmずつ上で剪枝を行った区が最も多収となった。

直立性品種では初回剪枝を30cmと高い位置で行い、年々10cmずつ高めると、株張りが不十分なのに樹高だけ高くなり過ぎる「裾上り」の仕立てとなりやすい。しかし開張性品種では、むしろ樹高を早めに高めた方が分枝数が増加し、摘採面積も早く広がり、早期成園化が達成できた。

以上の結果から、開張性品種の早期成園化を達成するための定植法は、条間50cm、株間45cmの千鳥植えが良く、また、仕立法は初回剪枝を地上30cmとし、毎年10cm程度剪枝位置を高めた仕立てが良いと考えられた。

第1表 定植法と収量及び摘採面積の推移

条間	1985			1986			1987			累計収量	枝条数		
	一番茶	二番茶	三番茶	一番茶	二番茶	三番茶	一番茶	二番茶	三番茶		1985	1986	1987
30cm	365kg	463kg	309kg	341kg	389kg	347kg	2,214kg	83本	124cm	155cm			
二条植 40	347	474	298	336	385	342	2,182	87	125	155			
50	399	543	331	344	405	375	2,397	107	143	166			
一条植	324	457	255	331	375	305	2,047	80	107	135			

注) 収量は10a当たり、枝条数はうね長2m当たりの30cm以上伸びた枝条の数

第2表 仕立法と収量及び摘採面積の推移

剪枝の高さ			1985			1986			1987			累計収量	枝条数		
初回	2回目	3回目	一番茶	二番茶	三番茶	一番茶	二番茶	三番茶	一番茶	二番茶	三番茶		1985	1986	1987
20	25	30	432kg	459kg	328kg	303kg	367kg	403kg	2,292kg	112本	119cm	140cm			
20	30	40	432	558	354	394	390	452	2,580	122	128	147			
25	30	35	462	512	372	356	366	385	2,453	127	125	144			
25	35	45	462	586	375	407	461	475	2,766	141	134	156			
30	35	40	481	513	342	332	359	390	2,417	130	130	147			
30	40	50	481	669	369	438	477	531	2,965	146	137	158			

注) 収量は10a当たり、枝条数はうね長2m当たりの30cm以上伸びた枝条の数